

●しゃらくかい

写楽同会

平成30年3月31日発行 027
投稿/投票宛先; kinuko_thompson@hotmail.com
© 2018 Sharakukai

ようやく春らしくなった弥生3月、東京の桜満開宣言も出ました。今月号の兼題は、梵木さん出題「旅」です。

写真俳句

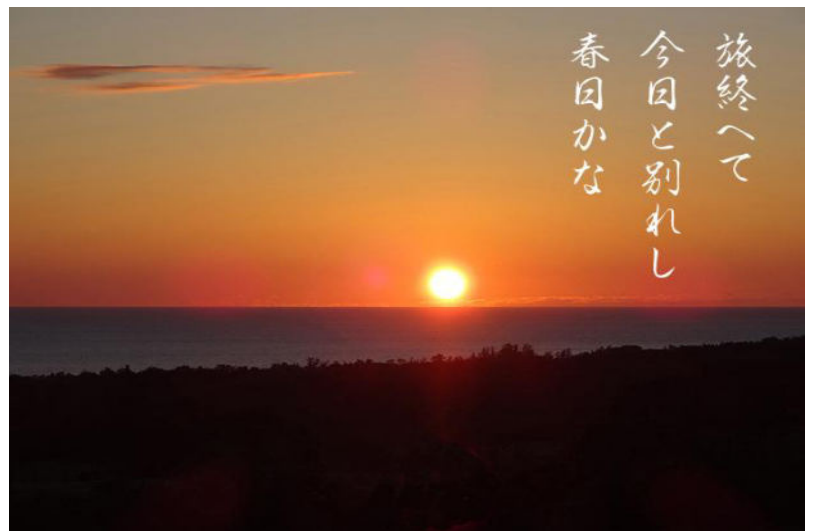


1 道しるべ辿りつ北へ春の旅

旅をしているのは人か、春か。読み手の想像にお任せ。

2 旅終へて今日と別れし春日かな

一日の旅を終えて海に沈む日はとても綺麗でした。



3 砂漠旅追えば逃げ行く蜃気楼

エジプト・アスワンからアブシンベルへの道中の蜃気楼です。砂漠に水や島が現れ、追って行くと消えます。

砂漠旅追えば逃げ行く蜃気楼





4 残り雪昨日の旅も窓流る

旅の帰路、新幹線の車窓にて。



5 風光り卒旅友と初外遊

友人のお嬢さんの話を聞き詠みました。



6 春菜蒔き明日は四国路早仕舞い

明日は旅行早く種蒔き済ませて旅支度しなくては……。



ひととき

7 北帰行 までの一時 春隣

以前にすんでいた弘前付近の川には毎年多くの白鳥が飛来します。春になるとシベリアに帰りますが、それまでのひととき羽を休ませているようです。



8 春の旅日々どこえでもめし雨具

俳句

1 車窓から溢れる朝日山笑う

ドライブ中に朝日が差して山が笑っているようです。

2 満天の星冴え返る甲斐の国

星の観賞と温泉を訪ね甲斐に行ってきました。

3 にびの空かぎ裂きにして雁帰る

耳なれない音に見上げると雁の群れで、
鉤になって鳴きながら飛んでいきました。

4 古民家の軒端掠める初ツバメ

5 春の陽や早やわが心旅に駆る

やっと寒かった冬が終わりました。

6 今弥生宇宙に旅立つホーキング

7 春空へ 影なくなりて 旅始む



撮影：梵木

鈍色の空に白梅咲き始め待ち侘びし春ゆっくりゆっくりと 準坊

今年の冬は本当に寒い日が続きました。花の膨らみにはホッとします。

これもまた旅の姿か待ち時間老いも若きもスマホつまぐる 北切雀

かくいう我もそのひとり。

川柳

準坊 七十四未だ躊躇の優先席

この歳になっても電車の優先席利用には躊躇します。

池福楼 いい湯だな銭湯富士で旅気分

過密過ぎ朝からいびきバスツアー

30年2月「織る」または「編む」(出題者：池福楼)の作品と投票結果

<< >>は作者コメント、* は読者コメントです。

- * 兼題がやや日頃馴染みが無く、難解かなと思いましたが、投稿作品は多様性があり、良い作品が揃いましたね。(池福楼)
- * 2月号も楽しく読ませていただきました。コメントを読むのも面白い。
- * 日本から消えてしまうかもしれない文化をこういう形で残していく皆さんに脱帽です。写真も楽しませてもらいました。
- * 今日は寒かったので、2月の作品も違和感なく入り込めました。春が待たれますね。

写真俳句の部 総投票数：32

一席

毛糸編む 手はそのままの 生返事 昼寝覚 (8票)



<< 妻が毛糸を編み出すと、会話になりません。>>

- * ご夫婦の情景が手に取るように浮かびました。
- * 2、3・・・はい、はい・・・6、7・・・目を数えてるの。素編みでもトランス状態になるのが編み物。
- * こんな難しそうに編み込みだったら生返事にもなりますよ。
- * 夢中になって編んでいる つい生返事になってしまう。その通りですね。
- * 編み手の気持ちがよく分かります。
- * 毛糸を編む作業は自己にのめり込む、心を癒すヒーリングの世界そのものです。
- * 編み物をしていると集中して、周りの音が聞こえなくなりますよね。

菰織の巻駒鳴って父寡黙

iSAMU (7票)



<<菰織（こもおり）は筵織（むしろおり）と同義と見做しています。菰と筵の違いは面積当たりの利用する藁の量です。巻駒は“つちのこ”とも呼ばれる木製の重りの事です。これが触れ合って軽やかな音を出します。農家の者でないと判らない场景です。>>

- * 静けさの中、巻駒の音だけが聞こえてきます。写真も素敵です。
- * いつまでも残っていてほしい風景です。
- * 勉強になりました。
- * 音を思わせる俳句はとにかく素晴らしいと思う。

* このような秀作に出会うと出題者としては嬉しい限りです。伝統的な田舎の風物詩。わらの良い香りが広がっていくよう。

「巻駒の音と父寡黙」の対比が良い。画像も雰囲気があります。

* これは、わたしの頭からは絶対生まれない句です。日本から消えつつある光景でしょうね。

* 農家でないので、よく分からないところもありますが、農村の風景をよく表しているようです。写真もすばらしいです。

あざみ

タータンに薊の思い織り込まれ 準坊 (6票)



<< 他国よりの侵略を防いだという薊はスコットランドの国花。因みに花言葉は「独立・厳格、等」。>>

- * イングランドとの国境周辺には、古戦場がいくつかあります。
- * 写俳を続けていると作品を通して知らない知識を数々教えられます。タータン柄と関わるスコットランドの歴史までまさに「織り込まれた」句に感心させられる。
- * タータンチェックに意味があるのですね。
- * 写真が大胆なのが好き、かつそこから薊を主役として引き出しているのが良い。

* スコットランドの象徴のタータンとあざみの花、スコットランドに行ったことを懐かしく思い出します。

* タータンチェックの色合いは、あざみの花の色を表しているのですか？ 初めて知りました。

峰近し (順不同)



絹つなぎ春の舞い織る佐賀錦 池福楼 (4票)

<< 伝統工芸師の匠の技が織りなす錦の美 >>

- * 綺麗な句ですね。むしろ佐賀錦は織物なので「織る」にこだわらず「・・・春の舞い降る佐賀錦」でも良かったかな。
- * 人間わざとも思えない精巧緻密な作業。
- * 春の舞いを織るという表現がいいですね。



あたたかい理想の編み方鳥の羽根 梵木 (2票)

- * 確かに羽は重なって編まれている様に見えます。
- * 鶴が恩返しに自分の羽を織り込んだという反物は、どんな反物だったのでしょうか。そんな想像をさせる作品です。
- * 鳥の羽根はあたかも糸で織った布に見える。生命の不思議に感動する。



寝たふりて孫喜びし冬は編む 千泉 (3票)

<< 昨年50年ぶりに編んだブランケットです。>>

- * 孫と祖母の愛が溢れてますね。
- * 寝たふりしてみせるとは可愛い！半世紀ぶりに編んだ甲斐がありましたね。言い切りの下五に決意がにじむ。
- * 手編みの温かさと家庭の温かさが、人の絆を編んでいる思いがします。
- * お孫さんにはこの暖かいブランケットに春の陽の優しいぬくもりを感じているよう。
- * ハンサムさんと大作のブランケット すごいです。



如月の手織り手編みは物語 北切雀 (2票)

<< 友人が織ってくれたマフラーと自作のセーター。>>

- * 厳寒の季節ならではのあったかく柔かなストーリーが広がる。
- * 手作りには確かに物語がありますね。



編みかけのマフラー急かす小夜嵐 久芽 (0票)

<< 風の強い日、マフラー早く仕上げなくてはと急かされます。>>

※写真は良い物が撮れずパソコンデータより使用。

- * 手の揃った見事な編み目。編み手の性格が出てます。
- * 彼の人に届けるのか、家族に贈るのか・・・ 作者の優しさに溢れています。

写真いいね！

菰織の巻駒鳴って父寡黙 iSAMU (推薦者2名)



- * 手前の横に伸びてる枝がとても良い感じですよ。(準坊)
- * 遠い記憶を彷彿とさせる写真。(北切雀)

俳句

池福楼撮影 ©2018 Print Hakase

一席**吾の手から 母に巻かれる 毛糸かな 昼寝覚 (9票)**

<< 小学生の頃、よく母が毛糸を巻くのを手伝ったことを思い出しました。>>

- * 我が家でもよくやりました。亡母は薬缶の口から上がる蒸気で、古毛糸の編みくせ取をしていました。
- * なつかしい！うちでもよく母の毛糸巻き手伝いをしましたっけ。家中で父が一番毛糸巻き上手だったのも思い出しました。
- * 子供の頃はいやだったが、母と糸で繋がっていた貴重な時間だったと今は思う。
- * 思い出しました。右に左に手を傾けて 手伝いました。
- * 昔の(?) 母親は手編み、手縫い、何でもよくできましたね。
- * この句は、もういない母との一コマを思い出させてくれました。
- * ほのぼのとして懐かしい光景ですね。

佳作**寒風や手編みのえりに遠慮なし 千泉 (6票)**

- * 襟元に吹く寒風もマフラーの暖かさが嬉しい。
- * 手編みのセーターでも寒風は関係ないですね、余計冷たさを感じます。

春きざす機織る音もリズムカル 久芽 (5票)

<< 以前住んでいた近所の奥さんは栃木県の方で内職に結城紬を織っていました。とても頑張り屋さんで家の前に行くとパタンパタンと規則正しい音が聞こえて来ました。>>

- * 静かに更け行く田園風景と春を待つ心が機の音に重なる。
- * 昔話の世界のようですね。

峰近し (順不同)**鬼待つや小笹に山の年の豆 北切雀 (4票)**

- * 毎年の行事をパスしてしまうと物足りなさが残りますね。
- * 大声で「鬼は～外」豆まきの爽快感も今や近所迷惑で自粛。懐かしい行事もすたれいく。
- * 豆の入った小ざるを見て、風情のある句を作れるのは流石に日本だけでしょうね。

春水面亀甲模様の光編む 池福楼 (4票)

- * 偏光レンズを通した様な水面の輝きが見えてきます。
- * すてきですね。春のおだやかな情景が目に見えてきます。
- * 漢字がいっぱいで理解するのが大変かな。

<< お気に入りのマフラーをぐるぐる巻いて準備万端。>>

* 強烈な寒風に手編みのマフラーが助っ人に。

オリンピック月桂樹の葉で冠を編む 梵木 (2票)

* 批判あれこれでも始めてみれば競技は素晴らしく、終わると気が抜けてしまうオリンピック。

* 実際はオリーブ冠のようですが、勝者の喜びを象徴している。

* 月桂樹の緑色は、冠にするとよく映えますよね。

短歌

何気なく入りしカフェでジャズ流れ心和みて珈琲旨し 準坊

<< 最近ジャズを聴かせる喫茶店が少なくなり残念に思っていました。>>

* 下積みジャズピアニストと大部屋女優の恋物語、映画「ラ・ラ・ランド」は良かったア。

* コルトレーンやマイルスデイビスがレコードの音源から、大型のスピーカーで流れる年期の入った喫茶店。最高のひとときですね。

ミンサーに耳当て聴かん波の音早や春ならん南の島は 北切雀

<< 沖縄竹富島の織元で買ってきた、ミンサー織りの半幅帯を重宝しています。>>

* 真っ青な空と海と白砂が目浮かぶ。沖縄の旅情が甦る。名産の織物を題材にしたこともいいですね。

川柳

準坊 恵方巻き方角間違え食べ直す

<< 今年の恵方は「南南東やや南」だそうですね。>>

* 家族揃って太巻きをほうばる姿は異様ですね。

* 東京で育てて恵方巻知らず。初めてこれを関西の人に聞いた時は「奇習」だと思いました。

池福楼 句報編む苦勞がわかる誤字脱字

<< 北切雀編集長さんいつもありがとうございます。>>

* 写楽が届くと、ほぼ決まってお詫びのメールが続く。それが なんんだか ほのぼのとして好感が持てて そして何よりも、失敗するのは私だけじゃないんだと勇気づけてもらってますよ。>>> 恐れ入ります！訂正版の後追いを写楽の伝統にしまったようで恥ずかしい。(雀)

三つ編みの乙女はいまや鳥の巣に

セーターの袖口光る青っ漬

<<今は鼻水を垂らす子はあまり見かけない・・・>>

北切雀 福豆をたらふく食べる年となり・・・親

<< カリポリ・・・美味しい。>>

「お庭は外」字余りでまく吾子三才・・・子

<<「鬼はあどこお」とも叫んでましたっけ。>>

孫三才おうむ返しの「オニワソト」・・・孫

- * 節分川柳おもしろかったですー、楽しくて最高！！
- * 子供が小さい頃は端午の節句、七夕、自作お面をかぶって豆まきもしたけど、その子も14才。もう何年もすっかり忘れてしまっている日本の行事。写楽が思い出させてくれます。ありがたい。
- * 親子三代の構成が楽しく面白い。「子、孫」は特に可愛くて笑えます。

春だより

埼玉県志木市にお住まいのiSAMUさんから春らしさ溢れる写真を頂きました。蛇足ながら、桜が咲く頃獲れるウグイは「さくらうぐい」と言って春の季語です。



iSAMUさんからのメッセージ：

埼玉県柳瀬川の桜も開花寸前となりました。マルタウグイが海から沢山溯上しています。大きいものは50 cm もあります。富士見橋からみると川面に犇めています。

また、別の僕のHPの一部に「写真集」があります。2009年頃からのものが沢山あります。その時々心に残った花や風景などの写真です。できれば21インチ程度のディスプレイでご覧になるのが最適なんですが、縮小してもそれなりに楽しめます。写真の加工などもご自由になさってください。

こちらがそのURLです。下にスクロールしますと写真があります。

<http://136isamu.at-ninja.jp/50syasin.html>

- * 平成30年4月の兼題は久芽さん出題「乗り物」です。5月は千泉さんから「建物」と出ています。
- * 平成30年3号の作品の写俳、俳句の中で「いいね」と思われた二作品の番号を投票して下さい。
- * 句とは別に、写真として特にいいと思われる写俳作品がありましたら、「写真いいね！」として投票下さい。
- * 投票しなかった作品へのコメントも遠慮なくお寄せ下さい。短歌、川柳も大歓迎です。
- * 卯月4月への投稿、弥生3月号作品への投票の締め切りはともに平成30年4月20日です。
- * 随想、珍事報告などなど書き込みの他、読者さんからの兼題提案も常時受け付けてます。

「写楽句会」(五十音順)

池福楼、iSAMU、北切雀、準坊、隅っ孤、沈丁花、千泉、久芽、昼寝覚、梵木、
写楽句会027(連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com)

© 2018 Sharakukai

筆責: 北切雀

校正: 準坊、池福楼

